

2026年12月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社レゾナック・ホールディングス

取締役 常務執行役員 CFO

染宮 秀樹

2026年5月13日

RESONAC

01

半導体・電子材料セグメントは引き続き好調

半導体後工程材料サブセグメントの売上は、四半期単位で過去最高

02

全社コア営業利益は前年同期比大きく増益

半導体・電子材料セグメント、ケミカルセグメントが特に増益を牽引

03

2026年上期業績予想を上方修正

半導体・電子材料セグメントは前回公表値より大幅に上方修正
通期業績予想の進捗順調

| 目次

1. 2026年12月期 第1四半期決算
2. 2026年12月期 上期業績予想

コア営業利益は大幅増益
 クラサスケミカル除くEBITDAマージンは20%達成

IFRS	(億円)		
項目	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減
売上収益	3,211	3,079	△ 132
コア営業利益 (日本基準の営業利益に相当)	148	336	188
非経常項目	△ 9	△ 115	△ 106
IFRS営業利益	140	221	82
金融収益・費用	△ 45	△ 24	21
持分法投資損益	30	29	△ 2
税引前四半期利益	125	226	101
四半期利益	85	157	72
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	88	153	65
EBITDA※1	385	561	176
EBITDAマージン	12.0%	18.2%	6.2p
	2025年12月末	2026年3月末	増減
ネットD/Eレシオ※2 (倍)	0.83	0.79	△ 0.05

クラサスケミカル(石油化学事業)除くベース	(億円)		
	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減
売上収益	2,424	2,562	138
コア営業利益	140	342	201
EBITDA	363	553	190
EBITDAマージン	15.0%	21.6%	6.6p

コア営業利益: IFRS営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出。非経常項目は、その他の収益、その他の費用および減損損失(売上原価・販売費及び一般管理費に含まれる)

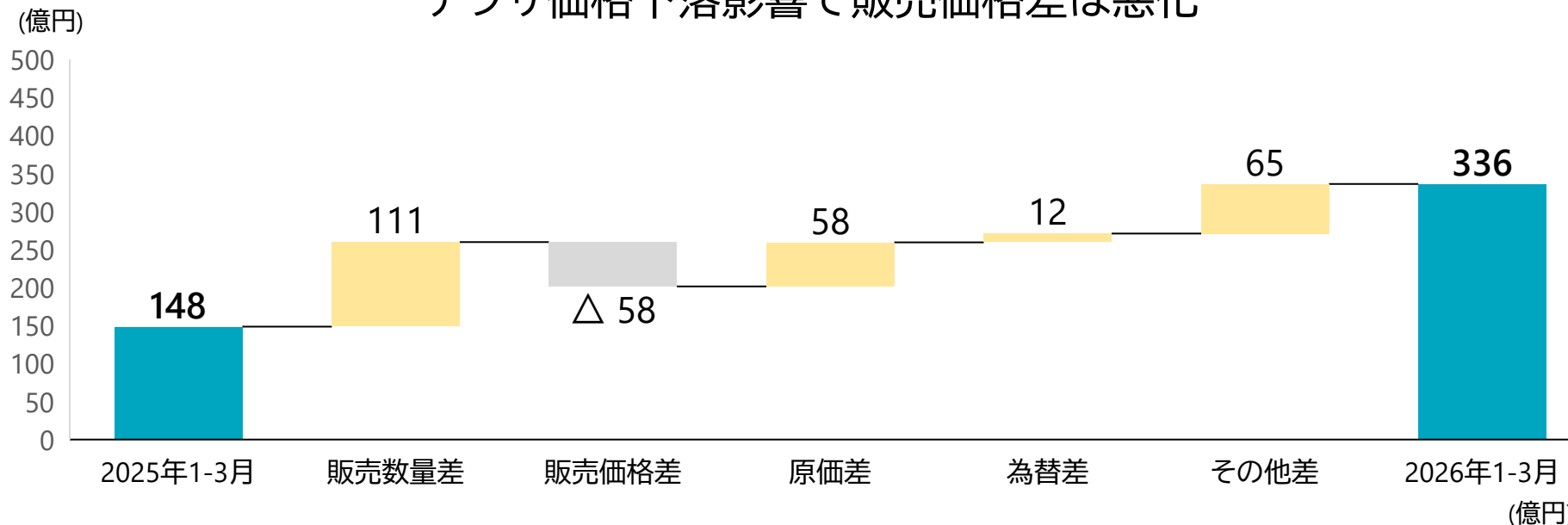
税引前四半期利益: IFRS営業利益 ± 金融収益・費用 + 持分法投資損益

※1 コア営業利益+コア営業利益に含まれる減価償却費及び償却費

※2 $\{(借入金+コマーシャル・ペーパー+社債+リース負債)-現金及び現金同等物-劣後ローン \times 50\% \} \div \{親会社の所有者に帰属する持分+劣後ローン \times 50\% \}$

劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、2024年7月29日付の㈱日本格付研究所の格付に基づく

半導体・電子材料の販売数量差が増益を牽引
ナフサ価格下落影響で販売価格差は悪化



セグメント	2025年1-3月	販売数量差	販売価格差	原価差	為替差*	その他差	2026年1-3月
半導体・電子材料	196	117	19	△ 38	11	35	340
モビリティ	11	△ 1	6	△ 2	0	15	29
イノベーション材料	21	6	△ 3	△ 0	0	0	24
ケミカル	△ 63	18	△ 17	13	△ 1	33	△ 16
クラサケミカル	8	△ 28	△ 63	85	-	△ 8	△ 5
その他・調整額	△ 25	-	-	-	-	△ 11	△ 36
合計	148	111	△ 58	58	12	65	336

* クラサケミカルの為替差は、販売価格差・原価差に含めて表示

半導体・電子材料が大きく増収・増益
 クラサスケミカルは定期修繕影響で減収・減益

売上収益・コア営業利益

(億円)

セグメント		2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減	増減率
半導体・電子材料	売上収益	1,112	1,347	235	21%
	コア営業利益	196	340	144	74%
モビリティ	売上収益	469	473	4	1%
	コア営業利益	11	29	18	159%
イノベーション材料	売上収益	220	227	8	3%
	コア営業利益	21	24	3	14%
ケミカル	売上収益	377	408	31	8%
	コア営業利益	△ 63	△ 16	47	-
クラサスケミカル (石油化学事業)	売上収益	787	517	△ 270	△ 34%
	コア営業利益	8	△ 5	△ 14	-
その他・調整額	売上収益	247	106	△ 140	△ 57%
	コア営業利益	△ 25	△ 36	△ 11	-
合計	売上収益	3,211	3,079	△ 132	△ 4%
	コア営業利益	148	336	188	126%

EBITDAマージン

セグメント	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減
半導体・電子材料	27.1%	34.0%	6.8p
モビリティ	10.6%	11.2%	0.6p
イノベーション材料	16.3%	17.0%	0.7p
ケミカル	△ 6.7%	5.0%	11.7p
クラサスケミカル	2.9%	1.6%	△ 1.3p
その他・調整額	0.2%	△ 15.8%	△ 16.1p
合計	12.0%	18.2%	6.2p

半導体需要は、デバイス・用途等により濃淡あるも総じて成長
主に後工程材料における販売数量増により大きく増収増益

半導体・電子材料

(億円)

項目	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減	増減率
売上収益	1,112	1,347	235	21%
半導体前工程材料	202	218	16	8%
半導体後工程材料	513	709	195	38%
デバイスソリューション	294	290	△4	△1%
その他	103	130	27	26%
コア営業利益	196	340	144	74%
EBITDA	302	457	156	52%
EBITDAマージン	27.1%	34.0%	6.8p	-

サブセグメント別動向

半導体前工程材料	売上 ↻	メモリ市況が緩やかに回復し増収
半導体後工程材料	売上 ↻	主にAI等の先端半導体向けの販売数量増で増収
デバイスソリューション	売上 ↻	HDメディアにおけるデータセンター向け需要は堅調であったものの、SiCエピタキシャルウェハーでの一部在庫調整の影響により横ばい

モビリティ

(億円)

項目	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減	増減率	業績概況
売上収益	469	473	4	1%	タイにおける自動車市場回復の影響や、一部顧客による需要増により、増収増益
コア営業利益	11	29	18	159%	
EBITDA	50	53	3	6%	
EBITDAマージン	10.6%	11.2%	0.6p	-	

イノベーション材料

(億円)

項目	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減	増減率	業績概況
売上収益	220	227	8	3%	製品ごとに濃淡はありながらも堅調に推移し、前年同期比で増収増益
コア営業利益	21	24	3	14%	
EBITDA	36	39	3	8%	
EBITDAマージン	16.3%	17.0%	0.7p	-	

グラファイトの販売数量回復により増収
構造改革効果の顕現により赤字縮小

ケミカル

(億円)

項目	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減	増減率
売上収益	377	408	31	8%
化学品	197	207	10	5%
グラファイト	170	194	23	14%
その他	10	7	△ 2	△ 24%
コア営業利益	△ 63	△ 16	47	-
EBITDA	△ 25	20	46	-
EBITDAマージン	△ 6.7%	5.0%	11.7p	-

サブセグメント別動向

化学品	売上 ↗	一部製品の原価上昇を受けた価格改定により小幅ながら増収増益
グラファイト	売上 ↗	黒鉛電極の販売数量が前年同期比で改善し増収。増収および構造改革効果の顕現により赤字縮小

クラサスケミカル (石油化学事業)

(億円)

項目	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減	増減率	業績概況
売上収益	787	517	△ 270	△ 34%	4年に一度の大型定期修繕の影響で減収減益
コア営業利益	8	△ 5	△ 14	-	
EBITDA	23	8	△ 15	△ 64%	
EBITDAマージン	2.9%	1.6%	△ 1.3p	-	

2026年内のパーシャル・スピノフ実行に向けた進捗アップデート

主要マイルストーン

スピノフ実行に関する機関決定

東京証券取引所による上場承認

スピノフ税制適格要件の充足

進捗アップデート

▶ 機関決定を機動的に取締役会で行えるよう、定款一部変更※を実施済▶ 2026年4月に東京証券取引所へ上場申請済▶ 税制適格要件の充足に向けて、当局への申請準備中

※2026年3月26日開催の第117回株主総会第2号議案「パーシャル・スピノフに係る現物配当のための定款一部変更の件」

非経常項目は退職給付制度の改定に伴う一時費用計上により悪化

非経常項目内訳

(億円)

項目	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減
事業再編等利益	52	-	△ 52
固定資産除売却損	△ 5	△ 13	△ 8
減損損失※	△ 1	△ 2	△ 1
退職給付制度改定損	-	△ 95	△ 95
事業構造改善費用	△ 36	△ 4	33
特別退職金	△ 12	△ 2	11
その他	△ 6	0	6
非経常項目 計	△ 9	△ 115	△ 106

金融収益・費用、持分法投資損益

(億円)

項目	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減
金融収支	△ 24	△ 20	4
為替差損益	△ 12	0	13
金融収益・費用 その他	△ 9	△ 4	4
金融収益・費用 計	△ 45	△ 24	21
持分法投資損益	30	29	△ 2

※ 売上原価ならびに販売費及び一般管理費に含まれる

利益剰余金の増加と円安の進行により資本増加
現金及び現金同等物の増加と借入金返済で純有利子負債は減少

連結財政状態計算書

(億円)

資産	2025年 12月末	2026年 3月末	増減	負債・資本	2025年 12月末	2026年 3月末	増減
現金及び現金同等物	2,620	2,819	199	仕入債務	1,628	1,508	△ 120
売上債権	2,802	2,422	△ 380	有利子負債	9,695	9,633	△ 62
棚卸資産	2,061	2,165	105	売却目的で保有する資産に直接関連する負債	96	105	9
売却目的で保有する資産	354	381	27	負債 その他	2,372	2,468	95
流動資産 その他	693	791	98	負債合計	13,791	13,713	△ 78
流動資産合計	8,530	8,578	49	親会社の所有者に帰属する持分	6,989	7,100	112
有形固定資産	6,629	6,735	106	(内、資本金・剰余金等)	6,220	6,258	38
無形資産	4,107	4,075	△ 32	(内、利益剰余金)	3,436	3,470	34
(内、のれん)	2,755	2,756	1	(内、その他の包括利益累計額)	769	843	74
(内、無形資産 その他)	1,352	1,319	△ 33	(内、在外営業活動体の換算差額)	722	794	72
非流動資産 その他	1,801	1,705	△ 96	非支配持分	288	280	△ 8
非流動資産合計	12,537	12,515	△ 23	資本合計	7,276	7,380	104
資産合計	21,067	21,093	26	負債及び資本合計	21,067	21,093	26

| 目次

1. 2026年12月期 第1四半期決算
2. 2026年12月期 上期業績予想

半導体・電子材料の好調により、上期業績予想を上方修正
 通期業績予想の進捗順調、中東情勢による不透明感から通期業績予想は見直していない

(億円)

項目	2026年上期予想			<ご参考> 前回予想 (通期)*
	前回予想 (上期)*	今回予想 (上期)	増減	
売上収益	6,150	6,600	450	13,100
コア営業利益 (日本基準の営業利益に相当)	530	740	210	1,400
非経常項目	△ 180	△ 170	10	△ 350
IFRS営業利益	350	570	220	1,050
金融収益・費用	△ 55	△ 50	5	△ 115
持分法投資損益	50	50	0	95
税引前利益	345	570	225	1,030
中間・当期利益	205	380	175	790
親会社の所有者に帰属する 中間・当期利益	200	380	180	770
EBITDA	998	1,193	194	2,358
EBITDAマージン	16.2%	18.1%	1.8p	18.0%

クラサスケミカル(石油化学事業)除くベース (億円)

	前回予想 (上期)*	今回予想 (上期)	増減
売上収益	4,950	5,400	450
コア営業利益	535	745	210
EBITDA	975	1,176	200
EBITDAマージン	19.7%	21.8%	2.1p

半導体・電子材料はAI向け材料を中心に好調のため、大幅に上方修正
 クラサスケミカルはパーシャル・スピンオフを控え業績予想を据え置き

売上収益・コア営業利益

(億円)

セグメント		2026年 今回上期予想			2026年 前回上期予想※	
		1Q実績	2Q予想	上期予想	上期予想	増減
半導体・電子材料	売上収益	1,347	1,603	2,950	2,650	300
	コア営業利益	340	403	743	535	208
モビリティ	売上収益	473	357	830	770	60
	コア営業利益	29	3	32	15	17
イノベーション材料	売上収益	227	243	470	450	20
	コア営業利益	24	25	49	45	4
ケミカル	売上収益	408	532	940	900	40
	コア営業利益	△ 16	16	0	10	△ 10
クラサスケミカル (石油化学事業)	売上収益	517	683	1,200	1,200	-
	コア営業利益	△ 5	0	△ 5	△ 5	-
その他・調整額	売上収益	106	104	210	180	30
	コア営業利益	△ 36	△ 43	△ 79	△ 70	△ 9
合計	売上収益	3,079	3,521	6,600	6,150	450
	コア営業利益	336	404	740	530	210

EBITDAマージン

2026年 今回上期予想	
セグメント	上期予想
半導体・電子材料	33.4%
モビリティ	9.6%
イノベーション材料	16.5%
ケミカル	7.8%
クラサスケミカル	1.4%
その他・調整額	△ 18.8%
合計	18.1%

Appendix

関係会社 (前期末対比)

子会社: 99社 (△2社)

△ 1社: 海外子会社の清算

△ 1社: 国内子会社の吸収合併

関連会社等: 32社 (△1社)

主要諸元

(期中平均)

	2025年		2026年	
	1-3月	上期	1-3月	上期予想
為替レート				
(円/US\$)	152.6	148.6	156.9	156.4
	2025年3月 期末レート: 149.5		2026年3月 期末レート: 159.9	
(円/€)	160.5	162.2	183.7	183.7
国産ナフサ (円/KL)	73,700	69,400	65,700	66,000

(億円)

セグメント	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減
半導体・電子材料	221	148	△ 73
モビリティ	23	23	0
イノベーション材料	10	8	△ 3
ケミカル	53	36	△ 16
クラサスケミカル (石油化学事業)	15	39	25
その他・調整額	34	25	△ 9
合計	356	280	△ 76

(億円)

セグメント		2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減
半導体・電子材料	減価償却費及び償却費(PPA除く)	75	86	11
	PPA償却費	31	31	-
	減価償却費及び償却費 計	106	117	11
モビリティ	減価償却費及び償却費(PPA除く)	34	21	△ 13
	PPA償却費	4	3	△ 2
	減価償却費及び償却費 計	39	24	△ 15
イノベーション材料	減価償却費及び償却費(PPA除く)	12	12	△ 0
	PPA償却費	2	2	0
	減価償却費及び償却費 計	14	14	△ 0
ケミカル	減価償却費及び償却費(PPA除く)	36	35	△ 1
	PPA償却費	1	1	0
	減価償却費及び償却費 計	37	36	△ 1
クラサスケミカル (石油化学事業)	減価償却費及び償却費(PPA除く)	15	14	△ 1
	PPA償却費	-	-	-
	減価償却費及び償却費 計	15	14	△ 1
その他・調整額	減価償却費及び償却費(PPA除く)	26	19	△ 6
	PPA償却費	0	-	△ 0
	減価償却費及び償却費 計	26	19	△ 7
合計 (コア営業利益に含まれるもの)	減価償却費及び償却費(PPA除く)	198	188	△ 10
	PPA償却費	39	37	△ 2
	減価償却費及び償却費 計	237	225	△ 12
コア営業利益に含まれない償却費		-	1	1
総合計	減価償却費及び償却費 合計	237	226	△ 11

(億円)

項目	2025年 10-12月	2026年 1-3月	増減
売上収益	3,609	3,079	△ 530
コア営業利益	363	336	△ 27
非経常項目	△ 111	△ 115	△ 4
IFRS営業利益	252	221	△ 31
金融収益・費用	△ 20	△ 24	△ 4
持分法投資損益	16	29	13
税引前四半期利益	248	226	△ 22
四半期利益	240	157	△ 83
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	230	153	△ 77
EBITDA (コア営業利益+コア営業利益に含まれる減価償却費 及び償却費)	595	561	△ 34
EBITDAマージン	16.5%	18.2%	1.7p

全社P/L

	上期予想※	下期予想	通期予想
売上収益	6,150	6,950	13,100
コア営業利益	530	870	1,400
非経常項目	△ 180	△ 170	△ 350
IFRS営業利益	350	700	1,050
金融収益・費用	△ 55	△ 60	△ 115
持分法投資損益	50	45	95
税引前利益	345	685	1,030
当期利益	205	585	790
親会社の所有者に 帰属する当期利益	200	570	770

セグメント別P/L

(億円)

セグメント	上期予想※	下期予想	通期予想	
半導体・電子材料	売上収益	2,650	3,050	5,700
	コア営業利益	535	745	1,280
	EBITDAマージン	29.5%	33.1%	31.4%
モビリティ	売上収益	770	670	1,440
	コア営業利益	15	15	30
	EBITDAマージン	8.5%	9.2%	8.8%
イノベーション材料	売上収益	450	450	900
	コア営業利益	45	45	90
	EBITDAマージン	16.4%	16.6%	16.5%
ケミカル	売上収益	900	1,000	1,900
	コア営業利益	10	70	80
	EBITDAマージン	9.5%	14.6%	12.2%
クラサスケミカル (石油化学事業)	売上収益	1,200	1,600	2,800
	コア営業利益	△ 5	75	70
	EBITDAマージン	1.4%	6.2%	4.2%
その他・調整額	売上収益	180	180	360
	コア営業利益	△ 70	△ 80	△ 150
	EBITDAマージン	△ 16.7%	△ 20.8%	△ 18.7%
合計	売上収益	6,150	6,950	13,100
	コア営業利益	530	870	1,400
	EBITDAマージン	16.1%	19.5%	17.9%

※2026年5月13日に上期予想は上方修正(p.14-15)

セグメント		2025年					(億円)
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	通期実績	
半導体・電子材料	売上収益	1,112	1,195	1,350	1,407	5,063	
	コア営業利益	196	229	315	344	1,084	
	EBITDAマージン	27.1%	28.3%	31.3%	33.1%	30.2%	
モビリティ	売上収益	469	428	424	463	1,784	
	コア営業利益	11	2	7	24	44	
	EBITDAマージン	10.6%	8.5%	10.1%	9.8%	9.8%	
イノベーション材料	売上収益	220	229	230	243	922	
	コア営業利益	21	28	31	23	104	
	EBITDAマージン	16.3%	18.3%	20.0%	15.8%	17.6%	
ケミカル	売上収益	377	407	475	485	1,744	
	コア営業利益	△ 63	△ 19	8	19	△ 55	
	EBITDAマージン	△ 6.7%	3.8%	10.2%	11.4%	5.4%	
クラサスケミカル (石油化学事業)	売上収益	787	712	729	775	3,003	
	コア営業利益	8	△ 16	41	14	47	
	EBITDAマージン	2.9%	△ 0.3%	7.6%	3.8%	3.5%	
その他・調整額	売上収益	247	238	234	236	955	
	コア営業利益	△ 25	△ 26	△ 20	△ 60	△ 132	
	EBITDAマージン	0.2%	2.2%	1.1%	△ 16.4%	△ 3.2%	
合計	売上収益	3,211	3,209	3,442	3,609	13,471	
	コア営業利益	148	198	382	363	1,091	
	EBITDAマージン	12.0%	13.6%	18.0%	16.5%	15.1%	

セグメント	主要製品
半導体・電子材料	<p>半導体前工程材料: 電子材料用高純度ガス、半導体回路平坦化用研磨材料(CMPスラリー)</p> <p>半導体後工程材料: エポキシ封止材、ダイボンディング材料、銅張積層板、感光性フィルム、感光性ソルダーレジスト</p> <p>デバイスソリューション: HDメディア、SiCエピタキシャルウェハー</p>
モビリティ	樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品、アルミ機能部材
イノベーション材料	樹脂材料、機能性化学品、コーティング材料、セラミックス
ケミカル	<p>化学品: 基礎化学品、産業ガス</p> <p>グラファイト: 黒鉛電極、カーボン負極材</p>
クラサスケミカル (石油化学事業)	石油化学事業: オレフィン、有機化学品、合成樹脂

セグメント	トピックス
半導体・ 電子材料	日米企業による次世代半導体パッケージ開発・コンソーシアム「US-JOINT」本格稼働
	ストレージ需要に応じ、ハードディスクメディアの生産能力を拡大
ケミカル	クロロプレンゴムの販売価格改定について
その他	2028年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の転換価額の調整に関するお知らせ

ニュースリリース

詳細は各ニュースリリースをご参照ください。

<https://www.resonac.com/jp/news>

注意事項

本資料に掲載されている当社の業績に関する予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。

なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、世界的な政治情勢、経済情勢、規制の強化、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。